

阿蘇山の噴火警戒レベルを1へ引下げ

本日（26日）11時00分に阿蘇山の噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）に引下げました。中岳第一火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなりましたが、火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

阿蘇山では、山体膨張を示す地殻変動がみられる中で火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が多い状態になったため、令和6年1月23日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）へ引き上げました。

その後、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は減少し、その他の観測データにも活動の活発化を示す変化は認められていません。

このことから、中岳第一火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられるため、本日（26日）11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げました。

なお、GNSS連続観測においても、昨年12月頃から深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で、伸びの傾向が認められていましたが、1月下旬以降は停滞しています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

※詳細については、気象庁ホームページをご確認ください。

気象庁ホームページ

ホーム>火山登山者向けの情報提供ページ>火山活動の状況

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/503.html

問合せ先：福岡管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター

電話：092-725-3606

熊本地方気象台

電話：096-324-3283